



新型コロナウイルス感染症対策と（仮称）道の駅常総の整備計画との関連について



答弁 施設からの感染リスクを低減させる

議員 道の駅建設については、新型コロナウイルス感染症対策と相反し、収束が全く見えない状況下で、道の駅を建設して交流人口を拡大する、つまり市外や県をまたいで集客する、さらには市街地や商業施設などにそこから誘致する行為は、感染症拡大を招きかねないと思うが、いかがか。当市の考えを尋ねる。

副市長

今年度策定する実施設計業務の中で、新型コロナウイルス感染症対策として自動ドアや自動洗浄となるような非接触対応機器の採用、また抗ウイルス建材の採用等の対応を行い、施設からの感染リスクを低減させるなど具体的な検討も十分行っている。

議員

今後、新型コロナウイルス感染症対策にもますます財源が必要となり得る状況、あるいは常総市の公共施設を今後全体の約



市民の広場・旧カスミ跡地利用のコンサルタントの方針と今後について



答弁 市の拠点づくりを進める

能であるので、土地の有効利用を考えて施設の設定をすべきと考えますがどうか。

生涯学習課長

計画は、北海道公民館をカスミ跡地に移し、建物を活用することも有効な手段として挙げられている。

議員

繁栄した時代を迎えることはできないにしても、何かと工夫と努力によって進めてほしい。

市長

旧カスミ店舗は、高齢者にも優しい平屋建てであり、オープンに利用することができれば、大人数が収容できる施設となる。また、市役所にも近く、市内を周遊する部分の仕組みの拠点として活用できる。

今後、市内外から訪れる方の第二の拠点としても活用できるような整備を私の公約にも掲げている。二期目もしっかりと前進ができるように、結果が出せるように進めていきたい。

議員

北海道地区にも多目的に使用できる施設建設・北海道公民館武道館等の移設等・商店街の活性化を含め、約9千平方メートルの土地利用を進めるために依頼したコンサルタントの意見や指導方針の内容について伺う。

教育部長

昨年10月コンサルタントより提出された報告書には、歴史的な施設を活用した回遊性のあるまちづくりが提案されている。特に北海道公民館については、旧カスミ店舗を活用し、市民の広場と一体的に活用することによって、公民館機能を中心市街地の再生や活性化につながるものとなっている。武道館については、市立図書館南側市有地へ移築を検討し、登録文化財の二水会館と共に活用する案が示されている。

議員

市民の広場、カスミ跡地は面積が広く複数の施設の建設が可